



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。☎秘書政策課 ☎ 36-7117

今月のテーマ 全国に先駆け「新総合事業」を始めました

今月は、地域包括ケアシステムと「新総合事業」についてお話しします。

まずは、平均寿命・高齢化率の話題から。戦後まもなくの昭和22年、日本人の平均寿命は52歳でしたが、平成25年には男性80.21歳、女性86.61歳まで延びました。高齢化率も25.1%（現在、当市の高齢化率28.7%）に上昇し、日本は、平均寿命・高齢者数・高齢化するスピードのいずれにおいても、世界一の高齢化社会になりました。

このように高齢化が進む中、市民が行政に何を求めているのかをアンケート調査したところ、1位は医療の充実、2位は高齢者の医療・介護・福祉の充実という結果となりました。また、「介護が必要になったとき、希望する介護は？」の問いには、「自宅での介護」58.4%、「施設での介護」18.8%となり、多くの市民が住み慣れた地域（自宅）で生活することを望んでいることがわかりました。そこで市では、介護が必要になった高齢者も住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」のサービスを一体的に受けられる「地域包括ケアシステム」の構築を決め、この4月から、全国に先駆けて「新総合事業」を開始しました。「はい・いいえ」で答える基本チェックリストで、利用可能な生活支援や介護予防支援を即日決定し提供しています。



古切手を切り取って介護予防

それでは、現在実施している事業をいくつかご紹介しましょう。まずは、自分たちで過ごしやすい場所をつくる「居場所づくり」。一人暮らしや閉じこもりがちな人が地域の仲間と楽しく過ごすための事業で、年度内に20カ所の設置（現在14カ所）を目指しています。次に「げんき教室」。一緒に体操や脳トレをしたり、歯科衛生士や管理栄養士の話を聞いたりします。4カ月間で8割の方に握力や片足立ちなどで改善が見られたそうです。3つ目は「げんきアップシニアサポーター養成講座」。おおり1階の専用室で楽しく体力アップを図っています。この講座は、修了生がサポーターとなり、新たな利用者を支える互助の仕組みができています。4つ目は「地域ふれあい事業」。公会堂など市内46カ所で、



地域ボランティアが中心となり、レクリエーションや会食等で交流を深めています。昨年は延べ1万7,372人の参加者を、延べ7,354人のスタッフが支えました。

そのほか、毎週一人ひとりに電話をかけ、普段と変わった事はないかを確認し、緊急時には30分以内に駆け付ける「ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム」（現在473人登録）や、お弁当を届けながら安否確認をする「高齢者等配食サービス」なども実施しています。

島田市は、これからも健康長寿・介護予防日本一を目指して、高齢者の安全・安心を支えていきます。

「広報ひみ」から

姉妹都市である富山県氷見市から寄せられたイベント情報などをご紹介します。

氷見市を訪れると、すてきな特典があることをご存じですか。姉妹都市から氷見市を訪れて宿泊された先着500人に、特産品をプレゼントします。

8月1日(土)には、5,500発の花火が夜空を彩る「第43回ひみまつり」を開催します。そのプレイベントとして、7月25日(土)～8月1日(土)の間、夏の祭典「トトタペローネ氷見」を開催し、海水を使った料理や水鉄砲大会など、さまざまなイベントを企画。この機会にぜひお越しください。

プレゼント贈呈場所／氷見市観光情報センター（ひみ番屋街内）☎ 0766-74-3521
持ち物／宿泊したことが分かる領収書と住所の分かるもの（免許証など）

☎氷見市商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課
☎ 0766-74-8036

